

News Letter

ニュースレター

Contents

- 活動報告
 第3回「オープン道場カフェ@けいはんな」に協力
 託児室「せんたん」の見学会を実施
 ランチミーティングを実施
 オープンキャンパスで教職員向け一時託児を実施
- インタビュー
 在宅勤務制度を利用して vol.1 (武藤愛 助教)
 スタートアップ研究費を受給して vol.13 (山田美穂子 助教)
 一時託児サービスを利用して vol.3 (山中優 助教)
- Information
 領域棟の女性休憩室をご利用ください
 プラスα保育「託児室せんたん」の利用目的に一時滞在を追加
 続・教育研究各棟、図書館等の多目的トイレの機能強化
 附属図書館のジェンダー関連図書

活動報告 2019年11月～2020年3月

2019年11月21日

第3回「オープン道場カフェ @けいはんな」に協力しました

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)にて第3回目の「オープン道場カフェ@けいはんな」(公益財団法人京都産業21主催)が行われました。けいはんな女性研究者ネットワークは今回もファシリテータとして協力しました。また、閉会のあいさつは本学副学長の小笠原司先生が務められました。本イベントは、女子学生とけいはんなの女性研究者・技術者をつなぐことを目的としたもので、今回は本学の大学院生や修了生を含む62名が参加し、大学生/院生からの研究報告、けいはんな地区の企業に勤務する技術者等からの報告、そしてフリートークを楽しみました。



2019年12月25日

ランチミーティングを実施しました

10月に行った前回のランチミーティングに引き続き、育児休業制度にまつわる学内規程、労使協定等が主な話題でした。研究室の主催教授・准教授の立場から考えると、育休中のスタッフのいる研究室運営を大学としていかに支えるかという課題に行き着くこと等について意見交換をしました。代替研究員を配置するという案が出ましたが、そもそも研究室に所属されているスタッフ数に差があるという現状があったりします。継続して議論を重ねていければと思います。



2019年11月28日

託児室「せんたん」の見学会を実施しました

本学の託児室「せんたん」は2019年10月にリニューアルオープンしました。そこで、どんなお部屋が知っていただく機会として、学内者限定の見学会を開きました。託児室は、職員宿舎にお住まいの教職員にとっては住居にも職場にも抜群のアクセスですし、遠方から通勤している教職員にとっても、通常保育が使えずにやむを得ず職場に連れてきた際に、保育者と子どもが安心安全に過ごせるスペースとなっています。ぜひ多くの方にご活用いただければと思います。



2020年2月22日

オープンキャンパスで教職員向け一時託児を実施しました

受験生を対象としたオープンキャンパスの運営に携わる教職員・学生を対象に「託児室せんたん」で託児を実施しました。お預かりした5名の子どもたちは、お人形遊びや工作をして楽しく過ごしました。

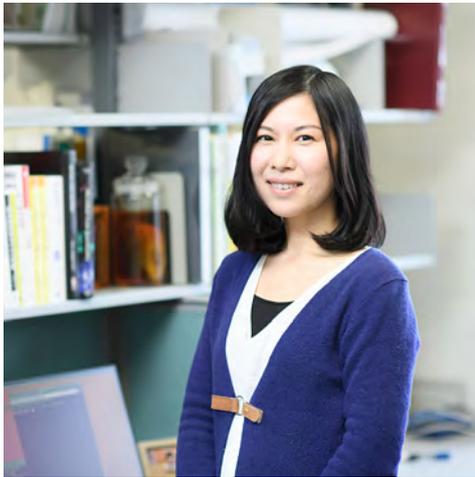


Interview

子育てと仕事を両立するために利用できる制度や円滑に研究を立ち上げるための助成を利用した方々へのインタビューです。

在宅勤務制度を利用して vol.1 | データ駆動型サイエンス創造センター システム微生物学(森研) 武藤 愛 助教

在宅勤務中はスカイプなどを通じて学生とやりとり



本制度については、男女共同参画室のランチミーティングなどで聞いて知っていました。産前産後休暇の申請の時点で人事課に詳細を教えてください、産休明け直後の1ヶ月間利用しました。

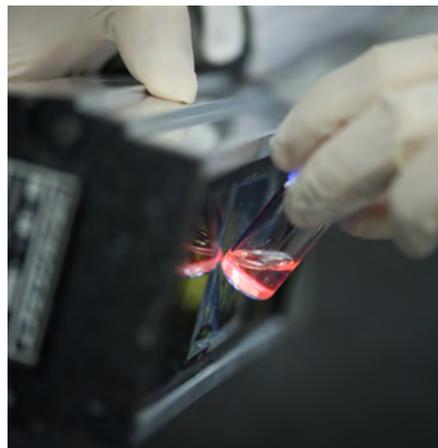
産後休暇の終了は5月初旬だったのですが、8月に博士課程の留学生の学位審査を控えていたことや、5月に新生入生の配属が始まることもあり、出来るだけ早く復帰の方が教育面への影響が少ないと考えました。また、子どもが健康で私自身の産後の体調にも問題がなければ、育休を取らずに復帰することが、自分のキャリアの面でもよいと考えました。ただ、子どもを保育所に預けられるまでは出勤できませんので、在宅勤務という選択肢があったことはとても大きかったです。在宅勤務中は、スカイプやメールなどを通じて学生とやりとりすることができましたし、慣らし保育の期間は週に何度かは大学に出勤して直接指導にあたることもできました。

(→続きは3ページの最初へ)

スタートアップ研究費を受給して vol.13 | 物質創成科学領域 光情報分子科学(河合研) 山田 美穂子 助教

学生のモチベーションアップにもつながった

2018年に本学に着任したのですが、スタートアップ研究費については着任後に知りました。研究費は、研究室のメンバーも利用できる分光器などの設備購入のほか、技術補佐員の方の人員費に使わせていただきました。私の研究は最初に研究材料となる化合物をつくるのに手間がかかるのですが、これをしないと研究が始まらないので、コンスタントに週3回この作業を担ってくださる方に来ていただけて助かりました。



技術補佐員の方と着任1年目から指導をした学生とで取り組んだ研究は良いデータが得られたので、学会発表を行い、今年の修論としてまとめることができました。合成に時間がかかる研究でしたが、もう論文執筆にとりかかろうという段階になっています。2年でここまで結果が出たのは、本研究費のおかげだと思います。学生も、単純作業ばかりで測定や考察、学会発表などに進めないモチベーションが下がったり、落ち込んでしまうこともあると思いますので、そういう意味でも、一緒に作業してくださる方がいたことは、モチベーションアップにもつながったと考えています。

技術補佐員の方を雇用するまでの間に時間がかかったこと、また、最初に教育期間が必要であることから、人の雇用にはある程度の期間以上予算を確保できている必要があります。ですので、研究費を利用できる期間が2年に延長されたのは、とてもよかったと思います。

産後1~2ヶ月の記憶がありませんが、たしか、在宅勤務制度の申請は、開始予定日の「2週間前まで」に届出が必要でした。私の住む大阪市では途中入所の場合、保育所の決定通知が出るのは「前月の20日」になります。保育所への入所が可能かどうかや、入所できる時期もわからない状態で、在宅で復帰するのか育休を取得するのかを決めなければならず、困った覚えがあります。このときは結局、在宅勤務の利用期間を長めに申請し、保育所への入所が決定したのちに期間の短縮を届け出ました。行政の待機児童問題が大きいのですが、大学でできることとしては、利用申請を直前でも受け付けてもらえたらもっと利用しやすくなると思います。



WEBサイト
「それぞれの働き方」
vol.18もチェック!

一時託児サービスを利用して **vol.3** | 物質創成科学領域 超分子集合体科学(廣田研) 山中 優 助教



本学に両立支援制度がこんなにあることは知らなかった

全学配信のメールで一時託児サービスについて知りました。妻に伝えたら「ぜひ使って」ということだったので、オープンキャンパスの際には都度都度使わせていただいています。以前、近所の保育所の一時託児を利用したことがあるのですが、本学の一時託児サービスを利用した後の方が、子どもの調子がむしろよくなって帰ってくるように思います。

本サービスの存在に気付いたのは偶然でして、それまでは本学に両立支援制度がこんなにいろいろとあることは知らなかったです。男女共同参画室のウェブページも探しづらく、はじめは福利厚生関係のところにあるのかな? と思ったらそこにもなくて、わかりにくかったです。学内の構成員に両立支援の情報が十分に届いているとは、残念ながら言えないと思います。

現在、一時託児サービスは年に3回のオープンキャンパスの日に実施されていますが、土日にある大学主催イベントはオープンキャンパスだけではなく合格者オリエンテーションなどもあり、年に6回ほどは休日出勤が必要です。こういったイベント時にも一時託児サービスがあればありがたいです。



WEBサイト
「それぞれの働き方」
vol.20もチェック!

男女共同参画室WEBサイトに連載中
本学で活躍する研究者へのインタビュー
「それぞれの働き方」

<http://www.naist.jp/gender/contents/message/interview/>

Information

男女共同参画室は、利用者の活躍に支えられ、本学構成員の仕事と生活の両立を支援する各種制度の充実に、多角的に取り組んでいます。

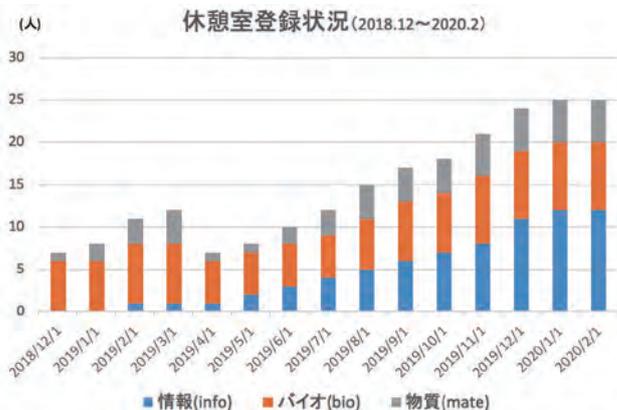
領域棟の女性休憩室をご利用ください

2018年12月にオープンした休憩室(計4ヶ所)は、体調が優れない等の理由での一時的休養(月経期、妊娠期、出産後など)、搾乳・授乳等のための休憩室です。利用を希望される方は、申請フォームより登録申請をしてください。

Lounge rooms that female staff and students can use when not feeling well due to pregnancy, etc. or when breastfeeding or pumping. If you wish to use it, please fill in the application form below.



利用申請フォーム
the application form



プラスα保育「託児室せんたん」 利用目的に一時滞在を追加

教職員／学生とその子どもの一時的な滞在を目的に託児室を利用いただけるようになりました。お子さんとのリフレッシュの場として、おもちゃや絵本、寝具、冷蔵庫や電子レンジ、トイレ・シャワーなどの充実した設備のある安心安全のお部屋をぜひご利用ください(要申込)。



続・教育研究各棟、図書館等の 多目的トイレを機能強化しました

おむつ替えシート等の整備に続き、フィッティングボードを設置しました。更衣の際などにもご利用ください。



附属図書館のジェンダー関連図書 をご利用ください

ベストセラー本やジェンダー論に関する図書が配架されています。ぜひ手に取ってみてください。

